

SUL 1部-第9節 首位攻防を含む全3試合が行われた。



四国学院大学 3(1-1)2 高松大学



後期3連勝で首位の高松大学(勝点17)と第2節以来プロ内定のエース⑧吉田がスタメンの2位 四国学院大学(勝点14)との一戦は、首位攻防にふさわしい激しい展開を見せる。12分に四学大⑩吉山のゴールで先制すると、リーグ1位の得点力を持つ高松大は、その2分後に高松大⑬楠のゴールですぐさま追いつき、後半に入りさらに激しさを増す。

後半開始早々47分、②住田のクロスがGKが処理しきれずはじいたところを⑭小松が詰めてリードを奪い逆転!

負けられない四学大は徐々に攻勢を強めると71分 ⑧吉田のクロス⑥小村が折り返し⑮神高が頭で合わせて同点とすると86分 ⑦熊野が自らドリブルで持ち込み、左足で決めて、ついに逆転! 激しいシーソーゲームを制したのは四学大! 順位は変わらずも首位と勝点17、後期初黒星の高松大、両大学ともに最終戦での勝利が求められる。



高知大学 3(3-0)2 松山大学



優勝に望みを繋ぎたい3位高知大学(勝点11)と後期流れを掴みたい松山大学(勝点7)との一戦は、16分 高知大②都築のFKから⑩中村が右足で決めて先制すると、22分には⑳濱のアシストから⑧池内が決めて2点目、28分にも⑳濱からのパスを⑨原田が決めて3点目を決めて12分間で3得点のゴールラッシュで前半を終える。

流れを変えたい松山大は、後半GKを含む一挙4人を交代! これがチームに活力を与えたのか57分⑰兵頭のパスを⑥河本が決めて勢いづく76分⑥河本からのアシストで⑳西田のゴールで1点差まで詰め寄るも反撃もここまで。

次節、高知大は優勝のため、松山大は自動残留のため、共に勝点3が求められる重要な一戦を迎える。



—折り鶴賞<警告・退場がなく、尚且つ、フェアプレーであったと認められたチームに与えられる>



愛媛大学 0(0-0)0 聖カタリナ大学



最下位の愛媛大学（勝点 6）と自動残留を決めている聖カタリナ大学（勝点 10）の愛媛ダービーは、後期に入り上位から勝点を得ている聖カ大が攻勢に出るも、何が何でも勝点を掴みたい愛媛大は、体を張ったプレーで応戦！警告をもらうもブレずに戦う姿勢を見せた愛媛大。聖カ大がシュートまで持ち込むシーンが多いもののゴールは生まれず後半へ！

後半も均衡は続き、両チームともに交代カードを切るも戦局は変わらず、勝点 1 を分け合う結果となった。

愛媛大は、最下位は変わらずも貴重な勝点 1 を獲得し、聖カ大は、勝点 3 とはならなかったものの自チームのリーグ最高勝点をさらに更新してリーグ最終戦を迎える。



## 次節 < 10月15日(土) > みどころ

第 10 節で 4 大学が最終戦を迎え、上位、下位ともに大混戦！優勝は決まるのか、延期試合 (10/22 愛媛大学 vs 高知大学) に持ち越されるのか。今季、最も重要な戦いが始まる！

### 次 節

10:00 四国学院大学 vs 愛媛大学 四国学院大学サッカー場

(2 位 勝点 17) (6 位 勝点 7)

首位に勝点で並んだ四学大と自動残留に向けて勝点がほしい愛媛大は、愛媛大がどこまでハードワークできるかが鍵となる。四学代は、1 位との得失点差、3 位との残り試合数と得失点差を考えると、勝ったうえでの得点差が求められる。

11:30 松山大学 vs 聖カタリナ大学 香川県東部運動公園人工芝

(5 位 勝点 7) (4 位 勝点 11)

最下位の愛媛大に勝点で並ばれた松山大と自大学のリーグ最多勝点を更新している聖カ大の一戦は、松山大学が 90 分をどのようなゲームプランで臨むのか、愛媛大は残り 2 試合だけに松山大学にとっては難しい一戦となる。

14:00 高松大学 vs 高知大学 香川県東部運動公園人工芝

(1 位 勝点 17) (3 位 勝点 14)

首位で迎えた高松大学と首位に勝点 3 差で迎えた高知大学の一戦は、先に行われる 2 位四学大の試合結果も気になるところ。高知大が残り 2 試合ではあるものの得失点差を考えると勝ちが求められる状況をどう捉えて臨むのかが重要となる。貴重な先制点はどちらが掴むのか！